

Kins University Press, Baltimore, 1971.

【編著書】McC. Brooks, Ch. and Levey, H.A.: *Humorally-*

Transported Integrators of Body Function and

the Development of Endocrinology. 183-238 in

McC. Brooks, Ch. and Cranefield, P.F. (eds.):

The Historical Development of Physiological

Thought. Halner, New York, 1959.

六 投稿原稿は、コピーを一部添付すること。原稿は著者校正の際も原則として返却しないので、手元にコピーを一部残すこと。

七 著者校正は、原則として原著・総説・研究ノート・広場資料を対象とし、初校のみとする。校正は印刷上の誤植を訂正するに留め、原稿の改変や、その他の組み替えは認めない。校正刷りの返送期日を厳守すること。期日までに返却されない場合は責とみなす。

八 刷り上り一〇印刷ページ(四〇〇字詰原稿用紙で二四枚)までは原則として無料とし、超過分と図表製版の実費は著者負担とする。

九 論文別刷は五〇部単位とし実費で作製する。別刷希望者は校正刷同封の申込書に部数を明記すること。

一〇 原稿の送り先

〒一一三 東京都文京区本郷二丁目一一一

順天堂大学医学部医史学研究室内

日本医史学雑誌編集委員会

編集後記

今年一九九六年はエドワード・J・エンナーの牛痘接種法発明からかぞえて、二百年の記念すべき年にあたる。WHOの天然痘根絶計画を遂行するにあたって、最有力の武器となったエンナーの偉業をたたえて、日本をはじめ世界各国で記念事業の開催が予定されているときである。

日本医史学会においても学会記念事業の一環として、わが国に現存する牛痘接種書と、牛痘法に関連した書籍や論文の目録を編纂するため、着々と準備がすすめられている。通称「エンナー委員会」とよばれている委員会の手で、そのための書式もすでに決定をみて、近々委員の皆様にご依頼する手筈になっている。

会員の方々には、ご所蔵の牛痘接種書や、ご自分でご執筆になった牛痘法についての論文、あるいはその際に収集された参考論文などをおしらせいただくことをお願いしたい。とくに地方色豊かな雑誌に収載されて、会員が目にする機会のとぼしい論文は収録したい、というのがエンナー委員会の意向するところである。

記念すべき年に関連の文献目録を作成してエンナーの偉大な業績を顕彰し、これを後世につたえることがわれわれの責務と考えて、おおくの会員がこの事業に参加されることを期待している。

さる三月三日栃木県壬生町で「種痘医斎藤玄昌記念碑」の除幕式がおこなわれ、それを記念して同町立歴史民俗資料館で開催されている特別展を拝見する機会があった。続々と各地でおこなわれる予定のエンナー顕彰事業にまけない文献目録を完成すべく、いまその歩みははじまった。(深瀬泰巨)